

**平成25年度　福井市PTA研究大会**

**～子どもたちの笑顔のために！広げようPTAの輪！～**



１１月３０日（土）、　福井商工会議所にて

『平成２５年度　福井市ＰＴA研究大会』～子ども達の笑顔のために！広げようＰＴAの輪！～

　 が行われました。

◆**第１回いじめ防止標語・親子メッセージコンクール　表彰式◆**

**会長賞**　六条小学校　２年

**いじめゼロ　やさしい心　そだてよう**

付属中学校　１年

**その言葉で消える命がある　その言葉で救える命がある**

入賞された作品はあらためて紹介させていただきます。

 ****

◆**基調講演 　テーマ ：　 親が変われば子どもも変わる** ◆

**講　 師 : 高橋史郎 先生**　明星大学教授　玉川大学講師　親学推進協会会長

 　　　　　　　　　　

 　　　　◉　教育に関して責任転嫁の連続だ。しかし、子どもの事は親の責任。親の態度をあらため、子に対して、きちんとした姿を見せて行く。

　 　　　◉ 子どもが学び成長して行くには「対人関係」と「自己制御」の力を身につけて行かなければならない。

そのために親が成すべき事は子どもの思いをしっかり受け止め、時には壁となって、乗り越えて行く姿を見守ること。

　 　　　◉　悪行をおこした時は、子の人格を信じながら、行為を叱るように。人格の否定はしてはならない。

 　　　◉　親は子に真剣に向き合おう**（家のおしえで種をまき　家の教えで芽が出たら　学校の教えで花が咲き　世間の教えで「み」が実る）**



**ある女子中学生の話　　　「人付き合いがうっとしい」と、母親に訴えた。母親は「絆」という字を娘に書かせる。**

**絆は「絆し」と書いて「ほだし」と読む。ほだしとは「うっとしい」という意味なのだそうだ。**

**『うっとしい思いを乗り越えて、絆は作っていくモノなんだよ』と、語ったそうだ。**





◆**パネルディスカッション　　　テーマ ： 尊敬される親になるためには**

コーディネータ： 宇佐美副会長（司会）

パネリスト　： 高橋先生　水島ＰTA会長　川島副会長　古石副会長

親の価値観で子育てをしない。子どもの（幼児の）成長段階を学んで、それに合わせて

行っていく。例えば、２歳後半ごろには思いやりや友達への優しさなどが出来上がって

くる。３歳では自制心が確立される。これを踏まえて、幼少期から、真剣に向き合おう。